



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月10日

上場会社名 阿波製紙株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3896 URL <https://www.awapaper.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三木 康弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員経営管理部長 (氏名) 岡澤 智 TEL 088-631-8101
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	7,165	17.6	86	—	106	—	21	—
2021年3月期第2四半期	6,092	△21.3	△85	—	△16	—	△125	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 80百万円 (—%) 2021年3月期第2四半期 △177百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	2.14	2.12
2021年3月期第2四半期	△12.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	15,632	6,121	27.2
2021年3月期	15,739	6,101	26.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 4,247百万円 2021年3月期 4,228百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2022年3月期の期末配当予想につきましては、未定としております。

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,700	17.1	360	—	340	—	130	—	13.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	10,172,676株	2021年3月期	10,172,676株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	193,932株	2021年3月期	193,932株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	9,978,744株	2021年3月期2Q	9,978,744株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、各国の経済政策による下支えや新型コロナウイルスワクチン接種の普及などにより持ち直しの動きが続くものの、変異株の動向や物流の混乱など依然として先行き不透明な状況が続いております。

世界の自動車販売台数は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を大きく受けた前年から回復しておりますが、第2四半期に入り半導体不足や物流の混乱などによる減産で回復のペースが鈍化しております。こうした状況のもと、当社グループの関連市場である自動車部品業界でも需要は前年から回復していましたが、直近は生産台数の減少により新車関連部品の需要は減少しております。

一方、水処理関連市場においては、需要は堅調に推移しております。

このような事業環境下において、当社グループでは今期にスタートしました新中期経営計画「Awa Breakthrough Plan」のもと基盤事業の拡大と強化、新事業の創出に向けた活動やDXによる労働生産性向上に取り組んでおります。当第2四半期の受注については、前年より回復いたしました。しかしながら収益面では、物流の混乱や原材料・燃料価格の上昇の影響を受けました。特に自動車関連資材では、タイ工場でのコロナ感染による生産活動の停滞に伴う納期対応のため、大幅に輸送費が増加しました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高7,165百万円(前年同四半期比1,072百万円増、17.6%増)、営業利益86百万円(前年同四半期は営業損失85百万円)、経常利益106百万円(前年同四半期は経常損失16百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益21百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失125百万円)となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」に記載のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間の主要な品目別売上高の状況につきましては、次のとおりであります。

なお、当社グループは、機能紙・不織布の製造・販売を事業内容としており、単一の事業活動を行っておりますので、品目別に記載しております。

品目の名称	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
自動車関連資材	3,775	119.5
水処理関連資材	2,810	119.5
一般産業用資材	579	99.3
合計	7,165	117.6

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、15,632百万円となり、前連結会計年度末より106百万円減少しております。主に原材料及び貯蔵品が120百万円、仕掛品が98百万円増加し、有形固定資産が261百万円、商品及び製品が78百万円減少いたしました。

負債総額は9,511百万円となり、前連結会計年度末より126百万円減少しております。主に電子記録債務が285百万円、支払手形及び買掛金が105百万円増加し、長期借入金が342百万円、短期借入金が87百万円減少いたしました。

また、純資産につきましては、6,121百万円となり、前連結会計年度末より19百万円増加しております。主にその他有価証券評価差額金が13百万円減少し、利益剰余金が21百万円、為替換算調整勘定が12百万円増加いたしました。

以上の結果、自己資本比率は27.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は502百万円となり、前連結会計年度末と比較して、61百万円の増加となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、796百万円（前年同四半期は193百万円の使用）となりました。これは主に棚卸資産の増加額141百万円の減少要因があったものの、減価償却費382百万円、仕入債務の増加額379百万円の増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、101百万円（前年同四半期比209百万円減、67.4%減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出112百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、641百万円（前年同四半期は691百万円の獲得）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出373百万円、短期借入金の純減額190百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期業績予想につきましては、2021年5月13日に公表いたしました「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」における通期業績予想の数値から変更はありません。

なお、連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	635,760	697,476
受取手形及び売掛金	2,442,323	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	2,478,385
電子記録債権	700,894	712,590
商品及び製品	961,664	883,522
仕掛品	661,843	760,539
原材料及び貯蔵品	850,827	970,879
その他	173,289	89,657
貸倒引当金	△35,847	△35,855
流動資産合計	6,390,756	6,557,194
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,186,229	3,099,151
機械装置及び運搬具(純額)	2,286,989	2,174,264
土地	2,723,631	2,723,631
リース資産(純額)	46,566	46,688
建設仮勘定	228,619	162,221
その他(純額)	328,265	332,377
有形固定資産合計	8,800,301	8,538,335
無形固定資産	13,317	12,030
投資その他の資産		
投資有価証券	184,947	172,968
繰延税金資産	14,630	13,509
その他	336,165	339,268
貸倒引当金	△1,000	△1,000
投資その他の資産合計	534,743	524,746
固定資産合計	9,348,362	9,075,113
資産合計	15,739,118	15,632,307

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,042,635	1,148,259
電子記録債務	1,055,022	1,340,238
短期借入金	1,381,302	1,194,000
1年内返済予定の長期借入金	735,372	704,696
未払法人税等	17,934	19,973
賞与引当金	169,366	167,581
その他	511,261	547,799
流動負債合計	4,912,894	5,122,547
固定負債		
長期借入金	3,467,794	3,125,446
リース債務	36,729	29,152
再評価に係る繰延税金負債	373,873	373,873
退職給付に係る負債	845,301	859,067
資産除去債務	1,165	1,165
固定負債合計	4,724,863	4,388,704
負債合計	9,637,757	9,511,251
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,385,137	1,385,137
資本剰余金	1,375,899	1,375,899
利益剰余金	526,886	548,243
自己株式	△114,661	△114,661
株主資本合計	3,173,262	3,194,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,109	△28,887
土地再評価差額金	836,565	836,565
為替換算調整勘定	233,594	245,701
その他の包括利益累計額合計	1,055,050	1,053,380
新株予約権	43,699	43,699
非支配株主持分	1,829,349	1,829,357
純資産合計	6,101,361	6,121,055
負債純資産合計	15,739,118	15,632,307

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	6,092,879	7,165,307
売上原価	5,194,359	5,951,499
売上総利益	898,519	1,213,807
販売費及び一般管理費	983,898	1,126,929
営業利益又は営業損失(△)	△85,378	86,878
営業外収益		
受取利息	988	550
受取配当金	3,167	2,267
受取ロイヤリティー	3,413	—
為替差益	1,873	17,321
助成金収入	93,301	43
物品売却益	—	7,073
受取負担金	—	6,930
その他	8,320	11,523
営業外収益合計	111,065	45,712
営業外費用		
支払利息	22,889	19,309
その他	19,234	7,133
営業外費用合計	42,123	26,442
経常利益又は経常損失(△)	△16,437	106,147
特別利益		
固定資産売却益	769	2,385
特別利益合計	769	2,385
特別損失		
固定資産売却損	—	85
固定資産除却損	4,116	4,505
特別損失合計	4,116	4,591
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△19,785	103,942
法人税、住民税及び事業税	28,842	20,508
法人税等調整額	3,936	1,121
法人税等合計	32,779	21,629
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△52,564	82,313
非支配株主に帰属する四半期純利益	72,527	60,956
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△125,091	21,356

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△52,564	82,313
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,663	△13,777
為替換算調整勘定	△143,477	11,911
その他の包括利益合計	△124,814	△1,865
四半期包括利益	△177,378	80,447
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△177,423	19,686
非支配株主に係る四半期包括利益	45	60,760

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△19,785	103,942
減価償却費	394,707	382,755
賞与引当金の増減額(△は減少)	△55,061	△1,785
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,637	13,826
受取利息及び受取配当金	△4,155	△2,818
支払利息	22,889	19,309
固定資産売却損益(△は益)	△769	△2,300
固定資産除却損	4,116	4,505
助成金収入	△93,301	△43
売上債権の増減額(△は増加)	494,052	△47,885
棚卸資産の増減額(△は増加)	△71,160	△141,545
仕入債務の増減額(△は減少)	△792,523	379,284
その他	△84,431	103,439
小計	△199,786	810,684
利息及び配当金の受取額	3,731	2,717
利息の支払額	△23,718	△20,239
助成金の受取額	42,584	17,543
法人税等の還付額	7,019	1,793
法人税等の支払額	△23,417	△15,795
営業活動によるキャッシュ・フロー	△193,586	796,703
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△25,000	△25,000
定期預金の払戻による収入	59,300	25,000
有形固定資産の取得による支出	△477,309	△112,511
有形固定資産の売却による収入	53,537	2,392
無形固定資産の取得による支出	△197	△343
無形固定資産の売却による収入	81,025	—
投資有価証券の取得による支出	△1,799	△1,798
その他	△985	10,775
投資活動によるキャッシュ・フロー	△311,428	△101,485
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△268,003	△190,045
長期借入れによる収入	1,500,000	—
長期借入金の返済による支出	△472,397	△373,024
非支配株主への配当金の支払額	△49,741	△60,752
その他	△18,214	△18,053
財務活動によるキャッシュ・フロー	691,643	△641,876
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,086	8,271
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	176,540	61,613
現金及び現金同等物の期首残高	496,931	440,998
現金及び現金同等物の四半期末残高	673,472	502,612

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から、当該商品又は製品の支配が顧客への移転される時までの期間が通常の期間である場合は、出荷時点で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は、以下のとおりです。

(代理人取引に係る収益認識)

顧客への財又はサービスの提供における当社の役割が代理人に該当する取引については、従来は顧客から受け取る対価の総額で収益を認識しておりましたが、顧客から受け取る対価の総額から仕入先等に対する支払額を控除した純額で収益を認識する方法に変更しております。

(受取ロイヤリティーに係る収益認識)

受取ロイヤリティーは、従来は営業外収益として認識していましたが、売上高として認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,594千円減少し、売上原価は8,965千円減少し、営業利益は6,371千円増加しておりますが、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(追加情報)

前連結会計年度において有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染拡大による影響や収束時期等を含む会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、機能紙・不織布の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。